

廃棄物処理施設に関する

市の方針について



クリンクルセンター

市は、平成29年2月13日付けで西いぶり広域連合から提案のありました3市4町による廃棄物処理施設の共同整備について、財政的負担や市民生活・市内経済への影響などを含めて総合的に検討した結果、平成29年6月26日に、登別市と白老町の1市1町によるクリンクルセンターの運営を継続する方針を決定しましたので、今号では検討の背景、経緯などをお知らせします。

検討の背景・経緯

登別市は、白老町と1市1町で廃棄物処理施設「クリンクルセンター」の供用を平成12年4月1日から開始し、平成41年度までの30年間使用できるよう延命化の改修工事を平成22年度から計画的に実施しています。

一方、西いぶり広域連合は、室蘭市、伊達市、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町の2市3町による廃棄物広域処理施設「メルトタワー1」の供用を平成15年4月から開始していますが、施設運営保守管理業務委託が平成33年7月末までの契約となつているため、施設の延命化と新たな施設整備の比較検討を行った結果、平成29年2月13日の西いぶり広域連合議会において、平成37年度の供用開始を目指した新たな施設整備を行うことを決定しました。

この決定にあわせて、登別市は、2月13日付けで西いぶり広域連合から、2市3町に白老町と登別市を含めた3市4町による廃棄物処理施設の広域化の提案を受けたことから、将来のごみ処理のあり方について検討する必要があるものと考え、財政的負担や市民生活・市内経済への影響など、様々な観

パブリックコメント (意見公募)の 実施結果について

『廃棄物処理施設（クリンクルセンター）に関する市の方針（案）』について、平成29年5月22日から6月21日まで意見を募集したところ、2件の意見が寄せられました。寄せられた意見とその意見に対する市の考え方は、市ホームページに掲載しているほか、市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、しんた21、市立図書館、市立図書館アーニス分館、市民活動センター、環境対策グループに閲覧ファイルを備え付けています。

点から検討を行いました。

西いぶり広域連合からの今回の提案は、市民生活にかかわる重要な案件のため、市民の皆さんの意見交換会を2月・4月に開催するとともに各種団体からの意見をお聞きし、西いぶり広域連合や白老町とも協議を重ねた上で、5月19日付けで市の方針（案）をまとめました。

登別市は、市の方針（案）を登別市環境保全審議会に諮問するとともに、あらためて住民説明会を開催し、市の考え方を説明しました。

さらに一カ月の期間を設けてパブリックコメントを実施し、6月23日には、登別市環境保全審議会から、「クリンクルセンターの運営を継続することについては、適当と判断する」との答申を受け、6月26日に市の方針を決定しました。

問い合わせ

環境対策グループ

(☎) 2958



▲登別市環境保全審議会から答申を受ける小笠原市長



▲市民の皆さんから、多くの意見をいただいた意見交換会

